

## 公開講座

ポストコロナ時代をデザインする

第1講座

9月8日(木) 日本と韓国における社会経済的格差と福祉  
崔 銀珠 准教授(福祉学科)

第2講座

9月15日(木) あなたは、何のために学ぶのか?  
～予測困難な時代に突入する社会と教育～  
足立 登志也 准教授(こども学科)

第3講座

9月22日(木) 事業承継の2025年問題を考える  
堀越 昌和 教授(経営学科)

第4講座

9月29日(木) 心と身体を元気にする身だしなみ・化粧  
～今日からできる簡単なコツ～  
大元 雅代 講師(看護学科)

第5講座

10月6日(木) 身体知を考える  
森澤 桂 教授(健康スポーツ科学科)

### 2022年9月8日(木)～10月6日(木)

福山平成大学7号館大講義室 午後6時30分～午後8時00分

申込期間：2022年8月1日(月)～9月2日(金)

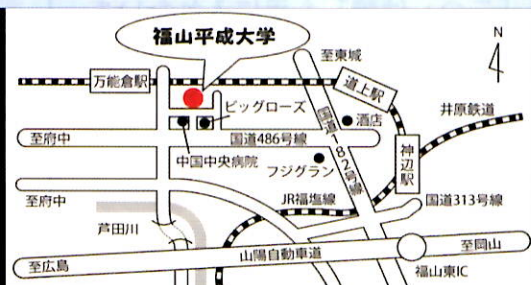
申込方法：受講申込ハガキに所要事項を記入の上、郵送又は持参

受講料：無料

定員：250人

5講座中、4講座以上の受講者に**受講証書**を授与

受講時は、各自で体温測定を行い37.5℃以下であることを確認し、必ず**マスク着用**をお願いいたします。  
喉の痛みや倦怠感(だるさ)等の体調不良症状がある場合は、受講はお控えください。  
新型コロナウイルス感染状況によっては、実施方法が変更になる可能性があります。



問い合わせ：福山平成大学 庶務課  
〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1  
電話：084-972-5001  
主催：福山平成大学 後援：福山市  
福山市教育委員会  
初代藩主水野勝成入封400年記念





# 「ポストコロナ時代をデザインする」

コロナ禍となり3年目を迎えています。不確実な現代社会にあっても、将来を見据え取り組む福山平成大学の研究・教育の最前線をお伝えします。

## 第1回 9月8日「日本と韓国における社会経済的格差と福祉」

崔 銀珠 准教授（福祉学科）

韓国の映画「パラサイト 半地下の家族」は、階層間の格差という社会問題を見事に描いた映画として日本でも上映されました。社会には所得格差、医療格差、教育格差など様々な格差が存在します。格差問題は個人の力だけで解決できるものではなく、社会全体の取り組みが必要です。そのためには、まず格差について「知る」ことが大切です。本講座では、日本と韓国の社会的・経済的格差の状況を概観するとともに、「福祉」の視点から両国の格差や貧困問題について考えます。

## 第2回 9月15日「あなたは、何のために学ぶのか？～予測困難な時代に突入する社会と教育～」

足立 登志也 准教授（こども学科）

将来の変化を予測することが困難な時代に突入しつつある今、子どもたちには、現在と未来に向けて、自らの力で生き抜く「知恵」を培うことが必要です。そのためには、これまでの学教教育とは違った資質・能力の育成が求められています。ただこのような力をもった子どもは、トップダウンで育てられるものではありません。そこには、子ども自らが「何のために学ぶのか？」という内発的な動機が必要なのです。そこで、今後の学校や社会が、子どもたちに果たすべき役割、大切にしていきたいことなどを考えていきたいと思えます。

## 第3回 9月22日「事業承継の2025年問題を考える」

堀越 昌和 教授（経営学科）

皆さんがお住いの近くに、シャッター通りといわれる、閉まったままのお店が多い商店街はありませんか？あるいは、道すがら廃墟となった事務所や工場を目にすることは？これらの原因の全てではありませんが、その大きな背景の一つにあげられるのが、中小企業の事業承継の問題です。もう少し詳しく言うと、跡継ぎがない為、それまでの事業を次の世代に引き継ぐことができずに、廃業せざるを得ない状況に陥る中小企業が、わが国ではここ数十年の間に、どんどん増えていっています。そして、この状態が続くと、中小企業の大量廃業に伴い、2025年までに650万人の雇用と22兆円ものGDPを失うと予想されています。この講座では、地域のにぎわいに直接的に結びつく、「事業承継の2025年問題を考える」について、その背景と解決策を分かりやすくひも解いていきます。

## 第4回 9月29日「心と身体を元気にする身だしなみ・化粧～今日からできる簡単なコツ～」

大元 雅代 講師（看護学科）

「身だしなみを整える」「お化粧をする」という外見を整える行為は、心（気持ち）を前向きにしたり脳を活性化したり、毎日の生活に良い影響を与えることが近年わかってきました。その結果、外出することが楽しくなり、人との交流や社会参加が増えることでQOL（生活の質）の向上や健康寿命の延伸を目指すことができます。この講座では、いつまでも元気で過ごすために簡単にできるスキンケアやメイクアップなどの「身だしなみ」「お化粧」のコツをご紹介します。

## 第5回 10月6日「身体知を考える」

森澤 桂 教授（健康スポーツ科学科）

並外れた身体的パフォーマンスを競うアスリートや、楽器演奏、踊りなどの芸事にたずさわるプロフェッショナルだけでなく、私たちの日常生活の営みも「こつ」は存在します。「こつ」は誰も手に入れたいものです。しかし、「こつ」を手に入れるのはそうたやすくはありません。「こつ」の体得は、文字どおり、頭だけでなく身体も駆使した学びです。「身体知」とは、身体と頭を駆使して体得する、身体に根ざした知のことです。この「身体知」の学びにおいて、本人が内側から感じる「動感」を中心として、身体知の獲得の道すじを考えます。